

青木 研 (あおき けん)

**研究テーマ** ゼミ生が関心のある経済問題・社会問題を題材に、それらがどういう問題なのかを経済学の視点からとらえ直し、データを用いて当該問題の実態を定量的に測定し理解することを第一の目標としている。その上で、問題への有効な対策についても考察している。参加ゼミ生の関心によるが、研究テーマとしては、医療サービス市場に関連した問題を取り上げることが多い。近年の研究テーマの具体例としては、「医師不足」問題の有無、「医師不足」の経済学的な解釈、「医師不足」問題の発生原因および解決策に関する研究、医療技術の高度化が医療費高騰に与える影響の定量分析、Two-sided market モデルを用いた SNS 市場の分析、内生性バイアスを考慮した上でのスポーツ強化費の効果に関する実証分析などがある。研究テーマ毎にグループに別れ、グループ単位で研究の実施・成果報告を行っている。

**運営方針** 現実の社会現象をよりよく理解するために経済学を応用すること、実際のデータを用いて自分の仮説が正しいかどうか確かめること、2点の修得を目標とする。研究課題の設定-仮説をたてる-理論・データによる仮説検証、といった一連の作業を実際に体験しながら、経済学的に考える力を身につけてゆく。ゼミでは4-5人をグループとして、グループ単位でゼミの準備・研究を行う。

**現在の在籍人数** 30名

**運営形態** 演習1・3を春学期に、演習2・4を秋学期に合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** レポート提出、面接

**前提科目** 経済学科生：マイクロ経済学 A, B, C (並行履修可) 経営学科生：経済学総論 I (並行履修可)

**履修が望ましい科目** 統計学・計量経済学関連科目 (所属学科問わず。並行履修可)

**ゼミ合宿など** ゼミ合宿・コンパなどは参加学生の都合に合わせて行う予定。

**その他** テーマによっては懸賞論文などにも応募します。

出島 敬久 (でじま たかひさ)

**研究テーマ** 現在までの金融緩和政策が雇用や賃金に与えた影響  
働き方の変化と少子化との関係、少子化対策と働き方改革

**運営方針** 現在の極端な金融緩和でも、家計消費は低迷しています。消費を決める最大の要因は賃金で、実質賃金が下落傾向だからです。賃金が上がりにくい理由には諸説ありますが、自然な説明は、人口減少がもたらす国内需要の減少が先読みされ、企業が正規雇用者の採用や教育訓練を抑制している可能性です。そこで、人口減少下でも成長が持続できるような雇用制度や働き方について考えていきます。3年次では日本の雇用制度と少子化の関係、金融緩和と家計の消費・貯蓄などに関する文献を輪読します。4年次は各自の研究(サーベイか計量分析)にあてます。

**現在の在籍人数** 0名 (2017年度は特別研修のため休講)

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。

**選考方法** 面接によります。雇用や賃金と消費の動向、働き方改革などに関心があることを期待します。

**前提科目** 経済学科生：マイクロ経済学 I (並行履修可)  
経営学科生：経済学総論 I (並行履修可)

**履修が望ましい科目** マクロ経済学または経済学総論 II

**ゼミ合宿など** ゼミ生の希望日程と行先があれば、合宿を企画します。たとえば、2013年度は徳島県庁と現地の有望な企業2社を見学し、人口減少に対応する地域政策、立地や雇用などの戦略について、質疑応答をしました。

**その他** 研究課題によっては、学外の経済政策に関する学生論文コンテストへの応募を考えます。

## 川西 諭 (かわにし さとし)

**研究テーマ** 分析対象：あらゆる社会問題に興味がありますが、特に経済や組織の活性化を研究しています。  
分析手法：ゲーム理論、行動経済学等に応用した理論研究

**運営方針** ゼミでは、社会的課題の解決を事業の目的とする「ソーシャル・ビジネス」をテーマとして、ゲーム理論、行動経済学などの基礎的な理論を応用して問題を解決する能力（知識、技術、考え方）を身につけることを目標とします。ゼミではゼミ生が主体となってグループ学習を行います。意欲的かつ主体的にゼミに参加できる学生と一緒に有意義な学びの場を作りたいと考えています。  
具体的には、知識を深めるための反転学習（自宅でテキストを読んできて、ゼミの時間内にその内容について議論する）と課題解決型学習PBLに学生が取り組みます。最後にPBLの成果発表会を行います。ゼミの連絡や情報共有などにFacebookを利用します。

**現在の在籍人数** 27名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 2種類の課題を課し、面接を行い、学習意欲とコミュニケーション、成績に基づいて選考をします。

**前提科目** 特になし

**履修が望ましい科目** 特になし

**ゼミ合宿など** 初回の懇親会と合宿は教員と一緒に企画運営します。その他のイベントはゼミ生に委ねます。

**その他** 詳しくはmoodleのコース「2018年度川西ゼミ演習I 選考課題」をご覧ください。

## 近藤 広紀 (こんどう ひろき)

**研究テーマ** 生活の身近にある公共経済について、具体的には、年金・介護・医療・育児をめぐる公共政策や社会保障政策、道路や図書館、学校、病院、環境保全などの公共サービスをいかに運営していくのかについて学びます。

**運営方針** 基本的なミクロマクロ、および公共経済学を学んだのち、ゼミ生のテーマに沿って研究と発表を行い、レポートの形にまとめます。

**現在の在籍人数** 7名（研究休暇等の都合により実質的な募集は昨年から再開しており、そのため現在はほとんど3年次生で構成されている）

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接を行います。

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** とくになし

**ゼミ合宿など** 合宿や懇親会については学生の希望や都合に合わせて行います。

**その他** 何事も日々の積み重ねが大切です。ゼミで学んだことは必ず復習して次のゼミへ臨むように心がけて下さい。

## プテンカラム ジョンジョセフ

**研究テーマ** 途上国の開発目標

1. 社会－経済的責任
2. 極度の貧困と飢餓の撲滅
3. 初等教育の完全普及の達成
4. ジェンダー平等推進と女性の地位向上
5. 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

**運営方針** 上記の問題についての基本文献を購読しゼミで報告することが主たる活動になります。現実的諸問題を解決するための理論的枠組みを身につけ、自分自身で創造的問題解決を行う論理的思考能力を高めることを目的とする。  
各自は、この分野における自分の関心がどこにあるのかを追求し、研修をもとにした課題をレポートとする。

**現在の在籍人数** 5名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接試験                      **前提科目** なし                      **履修が望ましい科目** 経済開発論

**ゼミ合宿など** ゼミ合宿など、基本的にゼミ員の発意に委ね、それを尊重します。

**その他** 積極的に学ぶ姿勢を持つ学生が望ましい。URL : <http://pweb.cc.sophia.ac.jp/j-puthen/>

開発経済

## 高橋 和志 (たかはし かずし)

**研究テーマ** 貧困削減に向けたこれまでの国際社会の不断の努力にもかかわらず、なお多くの人が非常に貧しい暮らしを余儀なくされています。本ゼミでは、低所得に苦しむ国や家計が抱えている様々な問題・制約・行動パターンを理解し、貧困解決につなげるために必要な分析方法や近年の革新的な取り組みについて学びます。

**運営方針** 日本語・英語の文献を輪読し、途上国の貧困問題に対する理解を深めていきます。また、個別またはグループで論文を作成し、その研究成果を発表・議論する機会を設けます。学生の希望があれば、実際のデータを用いて貧困分析ができるよう統計ソフト(Stataなど)の使い方を学びます。貧困、不平等などの基礎的な問題に加え、農業、教育、保健、マイクロクレジット、環境など内容が多岐にわたるため、ゼミ時間以外でも積極的に学習する姿勢が求められます。

**現在の在籍人数** 11名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接

**前提科目** 特になし

**履修が望ましい科目** 経済発展論・統計学・計量経済学・マイクロ経済学

**ゼミ合宿など** ゼミ合宿は学生の希望に応じて決める。

**その他** 海外フィールドワークは予定していませんが、各自、機会を見つけて途上国の現場に赴き、実態認識を高めることを奨励します。限定はしませんが、国内外大学院進学や国際協力機関(JICA、JETRO、国際機関など)への就職を希望している人を特に歓迎します。

経済政策・金融ファイナンス

## 竹田 陽介 (たけだ ようすけ)

**研究テーマ** ゼミのキー・コンセプトは、「個人と社会の相互作用」、「グローバル化と国民国家」「日本国憲法と立憲主義」「人口減少と長期停滞」「財政規律と金融抑圧」「人工知能と雇用」「移民・難民との共生」。すべて、いまを生きるわたしたち個人がどう考え、社会にどう伝えるかが問われる大事なコト(問題、テーマ)。マクロ経済学・マイクロ経済学のみならず、社会学・政治学・経済哲学など関連する分野が道標になる。合言葉は、「詰まらない(一部の)経済学より、面白い(一部の)社会学!」。論文・書籍・新聞記事・ブログなどから基本文献を精査し(読む)、解ったことについて議論し(話す、聞く)、自分の考え方をまとめる(書く)。読む・話す・聞く・書くという循環を繰り返しながら、大事なコトについて貪欲かつ冷静に答えを探し、深く関わっていきたい。

**運営方針** 社会科学の面白さは、自前の「仮説」を創造していく過程にある。読書・他人との議論を通じて、じっくりと時間をかけながら、独自の仮説を形成していく作業は、ゼミに参加する学生のみならず、指導する教員にとっても楽しい。学生ひとりひとりがもっている「何か」を大事にしながら、教員と学生のどちらがホストかゲストか分からないような「いい雰囲気」の中でともに時間を過ごすことこそ、理想のゼミの姿だと思う。熟成と忍耐、これこそゼミの方針。賛同する学生の参加を望む。

**現在の在籍人数** 16名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接。

**前提科目** 経済学科生 「マクロ経済学」（並行履修可）  
経営学科生 「経済学総論Ⅰ」あるいは「経済学総論Ⅱ」（並行履修可）

**履修が望ましい科目** なし

**ゼミ合宿など** いま、日本の「地方」は疲弊している。地方でしか生まれたい発想をもとめて、「東京には会えないが、一度会ってお話を伺いたい人」に会うため、地方に出向きたい。人選は、学生と相談して決める。また、個別の研究テーマに関して論文発表を行うインゼミの機会も開かれている。

**その他** 少し古いが、このサイトのインタビューが参考になる。  
<http://econ-web.cc.sophia.ac.jp/special/semi/prof/takeda.htm>

国際経済

## 蓬田 守弘（よもぎだ もりひろ）

**研究テーマ** 日本や世界が直面する様々な経済問題を国際経済学の視点から考察する。国際経済学には貿易、金融、開発の3分野がある。演習では3分野の基礎を修得し、国際経済学の考え方や分析手法を利用して現実の経済を分析する。

**運営方針** 国際経済学の考え方を学び、日本や世界の経済についての理解を深める。国際経済に関する教科書、報告書、論文等を教材とする。課題の提出に加えて報告やディスカッションへの参加が要求される。少人数のグループでゼミ論文を作成し、他大学との合同ゼミでプレゼンテーションを行う。

**現在の在籍人数** 3年生 11名、4年生以上 7名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施するが、それぞれ異なった課題に取り組む。

**選考方法** 面接（エントリーシートの事前提出あり）

**前提科目** 経済学科生：ミクロ経済学A、マクロ経済学A（並行履修可）  
経営学科生：経済学総論ⅠあるいはⅡ（並行履修可）

**履修が望ましい科目** International Economics and Business, 国際貿易論ⅠあるいはⅡ

**ゼミ合宿など** 夏休みにゼミ合宿、12月に他大学の国際経済学をテーマとするゼミと合同で研究発表会を行っている。

**その他** 教員HP：<http://pweb.cc.sophia.ac.jp/m-yomogi/>

環境経済

## 堀江 哲也（ほりえ てつや）

**研究テーマ** 堀江ゼミでは、環境、資源、生態系、食料、農業、都市環境などに関わる様々な問題の、経済学的アプローチによる解決方法について研究します。これまでの研究プロジェクト例は以下のようです。**2015年度**：「家畜伝染病大流行が食肉消費行動に与える影響」、「日欧米における農業保護水準の決定要因」、「インフルエンザの拡散とワクチン接種行動の経済分析」。**2016年度**：「東京都における居住地選択に与える花粉飛散の影響」、「東京都における居住地選択に与える花粉飛散の影響」。**2017年度**：「再生可能エネルギーの普及政策」、「不法投棄対策抑制策の経済学的分析」、「外国人の観光需要に与える自然資本の影響」、「有機農業導入に関する経済学的研究」、「気候変動が日本農業に与える影響」。

ここでは、実社会のチームプロジェクトを想定し、複数人からなるチームを構成し3・4年生合同の共同研究を行います。プロジェクトでは、これまで授業で獲得してきた知識を「道具」として用います。現実

世界の問題の要因を経済学理論により解き明かし、それぞれの要因の影響の程度を、計量経済学を用いて定量的に測定します。プロジェクト遂行に際しては「自分で問題を見つけて設定し、どのように分析すべきかを考え、分析結果から対策を見つけ出す」という、能動的な研究態度が求められます。研究活動を通し、(1)問題発見力、(2)知識活用力、(3)論理的思考力、(4)統計学的データ処理能力、(5)チームワーク力、(6)プロジェクト完遂力の6つの実践力を養います。

**現在の在籍人数** 19名(3年生:12名、4年生:7名)

**運営方針** ゼミの活動は、①3・4年生合同の研究論文作成、②3回の研究討論会への参加(ISFJ(日本政策学生会議)、上智・早稲田・慶応の合同研究会、上智・山形・専修の合同研究発表合宿)が中心となります。学生が自主的に議論を尽くし、互いに助け合い、刺激し合うことが期待されています。また、研究を進めるために、演習の時間以外に意欲的に研究活動を行うことも求められます。「ノルマをこなす」のではなく、「追求したい」、「もっと知りたい」という気持ちで一生懸命に研究したいと考えている学生を求めています。子供の頃に思い描いていた、「研究する大学生」を実現してほしいと思います。

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施します。留学については個別に相談して下さい。

**選考方法** 志望動機書(800字以内)と面接で評価します。

**前提科目** 経済学科生:なし 経営学科生:なし

**履修が望ましい科目** 担当教員の開講科目を未履修の場合、並行履修を求めます(環境経済学または Environmental and Natural Resource Economics)。

**ゼミ合宿など** 合宿は、夏の研究合宿と冬の上智・山形・専修の合同ゼミ合宿の2回があります。

**その他** ビジネスマンや行政マンになったときに、経済・社会現象の構造や因果を正確に捉えるためには、正しく意思決定を行うためには、またはプロジェクト成功させるためには、経済学を「正確に」利用する必要があります。経験から得た「勘」だけでは世を渡りきれないのです。ゼミ演習では、講義で学んだ、ミクロ・マクロ経済学、統計学、計量経済学を「道具」として実際に使うことを学びましょう。

## 公共政策・経済政策

### 釜賀 浩平 (かが こうへい) 春学期集中

**研究テーマ**

- ・ 社会が直面している様々な社会・経済問題からいくつかのテーマをゼミ生が自由に選び、3・4年合同のグループで政策提言論文を作成し、全国から毎年約70ゼミが参加しているISFJ(日本政策学生会議)に参加します(参照 URL: <http://www.isfi.net/>)。政策提言論文とは以下の①~③をまとめた論文のことです:①生じている問題の詳細を調べ、②問題発生メカニズムを明らかにし、③問題を改善できる政策案を自分たちでデザインする。
- ・ 過去のISFJで賞をとった論文のテーマは以下です:  
「子供の貧困の解決に向けて」「飼料用米の生産促進に向けて」「大規模震災に備えた木密地域の整備促進」「宿泊施設不足の解消に向けて」
- ・ 今年取り組んでいるテーマは以下です(暫定):  
「待機児童問題と保育所アクセシビリティ」「高レベル放射性廃棄物の最終処分地決定問題」「森林資源の効率的経済利用(バイオマスなど)」「日本の港湾のハブ化に向けて」「介護離職者問題」
- ・ 論文作成時にゼミで勉強する主な分野は、ミクロ経済学、厚生経済学、メカニズムデザイン(ゲーム理論)、法制度の経済分析(法と経済学)、統計・計量分析(主にソフトの使い方と結果の解釈)の他に、テーマに関連する経済学の各分野です(都市経済学など)。

**運営方針**

- ・ ISFJのスケジュールに合わせて、参加テーマごとに3・4年合同のグループを作り、各グループの進捗報告とグループ間のディスカッションを中心にゼミを行います。必要な経済学を学ぶ時間は適時設けます。
- ・ ISFJのスケジュール:8月上旬・中間カンファレンス(進捗と今後の方針をプレゼン)、9月下旬・中間発表会(中間論文をプレゼン)、11月上旬・論文提出、12月上旬・政策フォーラム(提出論文をプレゼン)。
- ・ 各年の参加テーマは前年の秋学期にゼミであらかじめ決めます。3年生がそれぞれのグループに加わるかは、3年生の希望に基づいてマッチングメカニズムを使って4月に決めます。
- ・ 3年生は4年生と同等に各グループ内で中心的な役割を果たしてもらいます(4年生の就活中は特に)。
- ・ 教員のサバティカルのため、春学期集中開講ですが、秋学期も活動してもらいます。

**現在の在籍人数** 16名(4年生)+15名(3年生)

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学などについては個別に相談のこと  
(毎年何人かは留学や海外インターンに行ってます)。

**選考方法** 課題と面接(留学中の場合はSkype)により選考。ゼミに積極的に参加できる人で、グループワークでも自分の責任・役割をちゃんと果たせる人であることが必要条件です。

**前提科目** ミクロ経済学A・B・C(並行履修可)

**履修が望ましい科目** 担当教員の開講科目を未履修の場合、並行履修を求めます(中級ミクロ経済学, Game Theory, 応用ゲーム理論, 法と経済学など)

**ゼミ合宿など** 夏休みにゼミ合宿を行います(2泊3日)。コンパなどは適時開催します。また、他大学ゼミとのインゼミも適時開催します。

**その他** 「**楽であること**」と「**楽しいこと**」はまったくの別物であり、「**楽しいこと**」には「**しんどいこと**」も(全てではなく一部)含まれる、という考えを持つ人で、「**楽しいこと**」をやってみたいという人にしか向きません。

## 経済数学

### 来島 愛子 (くるしま あいこ)

**研究テーマ** 統計的手法を用いたデータの分析  
確率モデルにおける最適化理論、数理ファイナンスなどへの応用  
統計的逐次意思決定問題

**運営方針** 確率論、統計学に関するテキストを輪読し、問題演習を行うことで、基本的な知識の習得をめざす。また文献講読により、問題設定やモデルの妥当性の検討、結果の考察などモデルを用いた問題への取り組み方を身につける。そのうえで、確率モデルのシミュレーション、データの統計的分析などを行っていく。

**現在の在籍人数** 8名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接 **前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 数学・統計学(あるいはデータ分析)関連科目(所属学科問わず。並行履修可)

**ゼミ合宿など** ゼミ合宿などは学生の希望に応じて行う。

**その他** 好奇心が強く、毎回の出席と積極的な参加ができる学生が望ましい。

## ファイナンス

### 南橋 尚明 (みなみはし なおあき)

**研究テーマ** ファイナンスに関する基礎的知識を習得し、金融市場に応用して考える力を取得することを目的とします。隔年で、大学院初級レベルの資産価格理論(Asset Pricing)と企業金融論(Corporate Finance)の文献を輪読する予定です。2018年度は企業金融論を扱います。(2019年度は資産価格理論を扱う予定です。)企業金融論では、企業はどのような長期投資を行うべきか、どのように資本構成を決定すべきか、どのように運転資金を管理すべきかといった財務活動の基礎的な理論について学びます。一般企業での財務関連の部署や、金融機関でキャリアを積みたい人におすすめです。

**現在の在籍人数** 26名

**運営方針** 欧米のMBAで用いられる初級レベルのファイナンスの教科書を中心にじっくり輪読し、基礎的なファイナンスの知識を習得する予定です。ゼミ内では共に演習問題を解きながら理解を深めます。ゼミでは金融知識の習得や金融分析の能力だけでなく、プレゼンする能力、建設的にディスカッションに参加する能力などコミュニケーション力も訓練する予定です。(輪読する書籍は、Ross, Westerfield, Jaffe(大野薫 訳)の「コーポレートファイナンスの原理(原題“Corporate Finance)」を考えています。翻訳か原著かの選択は個々の学生に任せます。)会計学、統計学、経済学のクラスを同時に履修することをお勧めしますが、

前述の書籍に必要な事項はすべて含まれており事前知識は必須ではありません。テキストでは高校初級レベルの数学が使われるので、数学が苦手な人は並行的に学習されることをお勧めします。

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接 **前提科目** なし **履修が望ましい科目** なし

**ゼミ合宿など** 学生の希望に応じ、ゼミ合宿や懇親会など行います。

**その他** 毎回ゼミに参加し、積極的に学びたい学生を歓迎します。

## 経済政策

### 中里 透 (なかざと とおる)

**研究テーマ** 2018年度は「金融政策とバブル」、「人口減少と金融機関の経営」、「鉄道整備と住宅市場」という3つのテーマに関して、参加者の報告をもとに議論をしていく予定です。最初のテーマは地価を通じて3つ目のテーマと関連を持ち、マイナス金利は2つ目のテーマにある金融機関の経営にも影響を与え、2つ目のテーマにある人口減少は私鉄の経営にも影響を及ぼすといったように、この3つのテーマは実は共通の問題意識のもとにあります。もちろん、他にも組み合わせは自由です。

**運営方針** ゼミをできるだけオープンな形で活発な議論ができる場にしたいと思います。現実の経済(マーケット?)の動きについて、理論とデータの両面から考察する面白さを追求することがこのゼミの目的です。政策分析に興味があり、機動力のある人の参加を望みます。他学部・他学科のみなさんの参加も歓迎します。

**現在の在籍人数** 10名(経済学科4名・経営学科6名)

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** レポート提出による選考を行います。

**前提科目** 経済学科生: マクロ経済学A・B  
経営学科生・他学部生: なし(ただし、経済学の基本的な知識があることが望ましい)

**履修が望ましい科目** 経済学科生: なし 経営学科生: 経済学総論I・II

**ゼミ合宿など** 夏休みに軽井沢でゼミ合宿を行なっています。年に数回都内で食事会を開催します。

**その他** 金融機関でエコノミスト・アナリストとして働きたい人、メディアの世界で活躍したい人、大歓迎です。

## 計量経済学・統計学

### 竹内 明香 (たけうち あすか) 春学期集中

**研究テーマ** EXCELやSTATA、SASS、Rを使用したデータ分析手法(統計学・計量経済学)。  
学部ゼミでは、主に、最小二乗法、ARモデル、ランダムウォークモデル、ベクトルARモデル、パネルデータ分析、ロジット・モデル等から、興味のあるものをピックアップする。

**運営方針** 3年次の目標は、何らかの仮説を検証するデータ分析のレポートを作成できるようになることである。初めに、ファイナンスデータなどを用いた論文に目を通してもらい、その後ゼミ生自身が研究テーマを決定し、データを用いて分析を行う。これらのグループ活動以外に、相関係数の仮説検定、最小二乗法などの手法について学習する。

ただし、2018年度と2019年度は2018年度春学期と2019年度秋学期の集中講義となる。そのため、例年参加しているRISへの出場については、変則的になることをご了承願いたい。

**限在の在籍人数** 3年生11名 4年次以上4名

**運営形態** 演習1と3、2と4を合同実施予定(人数によって変更有) 留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接

**前提科目** 統計学I・統計学II  
(もしくは、正規分布と期待値の計算、平均の仮説検定に関する知識を持っていること)

**履修が望ましい科目** 計量経済学（必ず並行履修）その他、統計数学関連科目

**ゼミ合宿など** ゼミ生の希望にあわせて食事会を随時行う。  
年に一回（例年12月もしくは1月）に、他大のゼミとの合同研究発表会を行っている。

**その他**

- ①3年生はワード・パワーポイントとエクセルを使用予定なので、これらのソフトを各自用意してもらいたい。
- ②コンクール・研究会について：
  - ・過去のグループ研究や卒業論文
  - 竹内 HP <http://asukaresearchlab.xyz/>
  - ・全国学生保険学ゼミナール(Risk and Insurance Seminar、以下 RIS)
  - RIS のHP <https://sites.google.com/site/riskseminar/>

国際経済史

## 倉田 正充（くらた まさみつ）

**研究テーマ** 長い歴史の中で、特定の国・地域だけ貧困削減が成功しないのはなぜか？また先進国と途上国の間の大きな経済発展の格差は何が要因なのだろうか？これらの問いの萌芽は、「経済学の父」とも呼ばれるアダム・スミスの『国富論』（1776年）にまで遡ることができる一方、その「答え」については未だコンセンサスが得られていないのが現状である。しかし近年、長期的な統計データの整備や統計的分析手法の発展によって、その謎を定量的に解き明かそうとする研究が蓄積されている。ゼミでは、地理（気候）、資源、文化、伝染病、戦争、政治体制、経済政策、国際協力など様々な観点から、長い時間軸の中で世界の貧困・格差問題を分析する国際（開発）経済史を学ぶ。

**現在の在籍人数** 15名

**運営方針** 学術書や学術論文を輪読する。人数に応じて、個人または複数人から成るグループを作り報告する形式を採る。

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 担当教員の開講科目、統計学（計量経済学）関連科目、ミクロ経済学（いずれも並行履修可）

**ゼミ合宿など** ゼミ生の希望に応じて行う。

**その他**

## 経営学科

### 経営系

山田 幸三 (やまだ こうぞう)

秋学期集中

研究テーマ 経営戦略論・経営組織論・アントレプレナーシップ・ビジネスシステム

**運営方針** アントレプレナーシップ・地場産業と伝統産業のビジネスシステム・技術開発型企業の経営に関する分析を通じて、経営現象への理解を深める。最初に、基本文献の購読とグループ単位でのケース分析・ディスカッションを行い、その上で春と冬の2回開催される大学対抗ゼミ討論会のための実態調査と報告レポートの作成に取り組む。

**現在の在籍人数** 20名

**運営形態** 演習1・2・3・4の合同実施、6月と12月開催のゼミ討論会を目標にスケジュール作成(2018年度は秋学期集中開講のため、春学期に月1回程度の集中ゼミを実施予定) 留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接試験 **前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 学科問わず：事業創造論Ⅰ・Ⅱ(並行履修可)  
経済学科生：経営学総論(並行履修可)  
経営学科生：統計学もしくはデータ分析に関する科目(並行履修可)

**ゼミ合宿など** 北海道、中央、大阪市立と上智の4大学5ゼミによる年2回のゼミ討論会に必要であれば行う。

**その他** URL : <http://econ-web.cc.sophia.ac.jp/teacher/staff/yamada/index.html>

網倉 久永 (あみくら ひさなが)

研究テーマ 経営戦略論・経営組織論・テクノロジー＝マネジメント

**運営方針** 演習の目的は、現実の経営現象の「おもしろさ」を掴むと同時に、その分析に不可欠な知識と技能を修得することである。演習の進行は、単なるテキストの輪読ではなく、ケースや企業の実例に即したディスカッション、実地調査を含む現実のデータ分析などを行う。すべてのメンバーに積極的に参加することが期待される。

**現在の在籍人数** 34名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接試験 **前提科目** なし **履修が望ましい科目** なし

**ゼミ合宿など** ゼミ論文の中間発表・最終報告会のためのゼミ合宿が予定されている。

**その他** URL : <http://pweb.cc.sophia.ac.jp/amikura/>

細董 伸子 (ほそがや のぶこ)

研究テーマ 日本企業における人材問題(人的資源管理論・産業社会学)

**運営方針** 本演習の目的は、学生ひいては社会人として必要な、調査研究スキルを習得し、実行することです。調査テーマの領域は、企業における人の問題、可能な研究テーマには、企業内コミュニケーション、チーム・マネジメント、人材育成/キャリア・マネジメント、ダイバーシティ・マネジメントなどが含まれます。近年の例としては学生のアルバイト、ワークライフバランス、グローバルなキャリアなどを取り上げています。演習1・2では、これらのテーマの中で特にゼミ生が関心を持つものを選び、インターゼミに参加するための論文や問題解決提案を全員で作成します。演習3・4ではゼミ論を各人が作成します。ゼミ活動を通じて、外部(企業や他大学)交流を経験しながら、チームで成果を上げるスキルを磨くことが目的です。

**現在の在籍人数** 26名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接（自己PR用のエントリーシートの提出が必要です。）

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ、産業社会学Ⅰ・Ⅱ（並行履修可）、統計学系の科目

**ゼミ合宿など** 他大学との交流に力を入れています。昨年は、夏に立教、明治、埼玉大の経営学ゼミとの、12月に慶応、立教、明治大学、立正大学の人的資源管理論専攻ゼミとのインターゼミ（研究報告会形式）に参加。研究と交流を深めるためのゼミ合宿などは学生が主体的に企画します。昨年度は夏休みに合宿を実施しました。

## 竹之内 秀行（たけのうち ひでゆき）

**研究テーマ** 企業の国際的な事業展開

**運営方針** 本演習の目的は、企業の国際的な事業展開に興味を抱き、それに対して多様な視点を養うことにあります。そのため、演習の進め方としては、テキストを読むとともに、ケースや企業の実例を挙げてディスカッションなどを行なう。自分の意見を述べ、他の人の意見に耳を傾けることはとても重要である。なお、3年時には他大学との合同ゼミを秋と冬の2度行う。秋の合同ゼミの際には、あわせて企業訪問を実施する。4年次にはゼミ論の作成を行なう。演習への積極的な参加を期待します。

**現在の在籍人数** 38名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接・レポート提出

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** なし

**ゼミ合宿など** 合同ゼミなどを兼ねた合宿を予定

**その他** なし

## 石井 昌宏（いしい まさひろ）

**研究テーマ** 経営財務論・ファイナンス・リスクマネジメント

**運営方針** 経営財務・ファイナンス・リスクマネジメントに関わる現象や問題をモデルを用いて考えることが演習の目的です。モデルを用いて現象や問題を考えると、「問題設定、その問題を考える枠組み・モデルの検討、モデルを用いた分析・考察」を行うことです。この目的を達成するために、全国学生保険学ゼミナール（Risk and Insurance Seminar、以下RISと略記します）での研究発表を予定しています。RISの研究対象は、保険に関連する諸問題（保険会社の経営戦略、保険会社の資産運用、海外保険市場）に限りません。これまでのRISでは、ファイナンスやリスクに関連する現象や問題（金融機関の海外戦略、企業の国際的な事業展開に関わるリスクマネジメント、企業の所有構造と経営戦略の関係、投資戦略、M&A、リスクマネジメントにおけるデリバティブの利用、経営者属性と投資リスクの関係など）も研究課題とされてきました。もちろん、これらは今後も研究対象です。なお、RISでの研究発表は個人単位ではなくグループ単位です。

**現在の在籍人数** 16名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 経営財務論Ⅰ・Ⅱや統計学(orデータ分析)に関する科目を履修していることが望ましいです。

**ゼミ合宿など** RISへは必ず参加します。これ以外のイベントは履修する学生さんたちと相談して決めたいと思います。

**その他** RISに関しては次のURLを参考にして下さい。

<https://sites.google.com/site/riskseminar/>

※RISの様子を知るために、必ずこのHPを読んで下さい。

## 小阪 玄次郎 (こさか げんじろう)

研究テーマ 企業における製品開発、イノベーションと、それを生み出す組織の分析

運営方針 演習で対象とする製品開発という分野は、経営戦略論や組織論、マーケティングの応用領域にあたります。  
このため、演習では狭く製品開発だけに絞ることなく、経営学分野の近年の文献を精読する作業を通じて「丁寧に思考する力を養う」ということをまず一つの目的としています。これに加えて、より実践的な取り組みとして、企業と共に実施している商品企画プロジェクト、企業の実地調査に基づいたケーススタディの作成、他大学との合同ゼミを行っています。

現在の在籍人数 24名

運営形態 演習 1・2・3・4 を合同実施。留学については個別に相談のこと。

選考方法 面接 前提科目 なし 履修が望ましい科目 なし

ゼミ合宿など 夏休みにディプロマシー・ゲーム合宿を実施。12月の学期中に他大学との合同ゼミを予定。

その他 なし

## 関 廷媛 (みん じょうおん)

研究テーマ 経営組織論

運営方針 経営組織論分野において、新しく、かつ、クリエイティブな自分なりの仮説提示と、それに対する理論的論拠・事例・実証的根拠が提示できるようになることが、演習の主要目的である。具体的には、経営組織論分野における学術論文講読を通じ、今まで知られていなかった知見を発見・検証し、4年時には卒業論文としてまとめていく。論文の講読は、授業の前に予習として行い、授業では学生担当者による発表・討論・教員による補足を行う。講読資料のほとんどは英文であるため、英文講読能力が求められる。

運営形態 演習 1・2・3・4 を合同実施。留学については個別に相談のこと。

選考方法 レポート・面接 前提科目 なし

履修が望ましい科目 統計学系の科目

ゼミ合宿など ゼミ生の希望に応じて行う。

その他 個別説明会への参加が「必須」です。演習活動に熱意を持っていることが求められます。

## マーケティング系

### 杉本 徹雄 (すぎもと てつお)

研究テーマ 1) 消費者行動の心理学的研究  
2) マーケティング・コミュニケーションやプロモーションの効果に関する調査研究  
3) 質問紙調査、実験、インタビュー、観察等の方法論の習得

運営方針 消費者行動や心理、広告コミュニケーション効果を科学的に理解し、実証的に分析する力を向上させることに重点をおく。そのため、文献研究だけではなく、調査やデータ解析の方法の習得が必須となる。学外の論文コンクール等に入賞することを目標として活動している。ゼミでは、自分の考え方をきちんと発言し、それに行動が伴うことを特に重視している。

現在の在籍人数 25名

運営形態 演習 1・2・3・4 を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接試験

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** マーケティング・統計系の科目（学科問わず・並行履修可）

**ゼミ合宿など** ゼミ合宿は夏に実施。ゼミ旅行は春休みに企業見学を主体に実施する場合もある

**その他** きちんと発言できる人を歓迎します。いろいろな考え方や価値観をもった学生が集まり、活力のある集団にしたいと考えています。そのため、他学部他学科の学生も歓迎します。

### 杉谷 陽子（すぎたに ようこ）

**研究テーマ** 広告、広報、ブランド構築、口コミ等のマーケティング・コミュニケーションに関する実証的立場からの研究を行う。

**運営方針** ゼミでは、大きく分けて次の2つの活動を行う。

- ① マーケティングに関する国内外の文献を輪読する。
- ② 少グループで調査・実験を実施し、報告レポートを作成する。これらの活動を通じて、問題を論理的に考える力、ディスカッションやプレゼンテーションの技能を身につけることも目指す。4年次には卒業研究を実施し、インターカレッジのプレゼンテーション大会で発表する。

**現在の在籍人数** 33名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** レポート提出、面接試験

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** マーケティング系の科目、および統計学に関する科目。（学科問わず・並行履修可）

**ゼミ合宿など** 学生の希望に応じて実施する。例年、夏合宿を年1回（9月）に実施している。

**その他** 出席と研究への意欲を特に重視します。

### 新井 範子（あらい のりこ）

**研究テーマ** 実際の市場からコンシューマ・インサイトを読み取るための専門的な知識を身につけ、実際の調査の分析から企画、プランニングまで行える能力を身につける。プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につける。

**運営方針** 文献を通しての基本的な知識の習得と、テーマを決めて、実際に調査を行っていく。

ゼミ時間外の活動も多く、より実践的な知を目指す。

ゼミ論文の作成をしながら、個別の調査も行っていく。また、他大学や企業との共同研究や調査も実施していく。

**現在の在籍人数** 36名

**運営形態** 演習1・2・3・4を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接試験+提出書類

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 特になし

**ゼミ合宿など** ゼミ合宿は夏に実施。ゼミ生との相談により企業見学などを行う。

**その他** 好奇心が強くフットワークが軽く、すぐに行動に移せる人を望む。

### Adam Johns(アダム ジョンス)

**研究テーマ** Cultural and Creative Industries in Global Markets

**運営方針** This seminar looks specifically at the international marketing of cultural and creative industries (anime, craft, design, fashion, film, food, manga, music etc). In Japan, these industries have received much attention recently under the banner of “Cool Japan”. We will examine efforts to promote these industries and the challenges in marketing creative and cultural products in

international markets. Students will cover such topics as (1) creativity (2) trade in culture (3) country of origin (4) place branding and use of place brands (5) international expansion and marketing of cultural craft and other creative industries. Seminar (zemi) sessions will include group discussion, company visits, and presentations in both English and Japanese.

**運営形態** 演習 1・2・3・4 を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 英語での"Personal statement" 課題提出 **前提科目** 特になし

**履修が望ましい科目** Global Marketing 1,2 もしくはグローバルマーケティング I,II

**ゼミ合宿など** ゼミ生の希望に応じて行う。(たとえば越後や京都などの地方のものづくり・伝統工芸の現場を拝見し、海外展開の提案を作成するなど)

**その他** ゼミは主に英語で行う予定(日本語での読書、発表、議論や見学も行う予定だが2ヶ国語で積極的に参加する意欲が必要)

## 会 計 系

### 西澤 茂 (にしざわ しげる)

**研究テーマ** 財務諸表に基づく企業分析  
有価証券報告書、Annual Report の会計情報の活用法  
国際税務

**運営方針** 有価証券報告書および Annual Report を基礎とした企業分析、世界各国における会計および税務制度の研究を行うことを目的とします。

演習 1・2 では、会計学の文献輪読およびグループ単位で日本の主要企業の企業分析を行います。

演習 3・4 では、個人単位でテーマを選択し、ゼミ論を作成します。

**現在の在籍人数** 45 名

**運営形態** 演習 1・2・3・4 を合同実施。留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 面接試験 **前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 財務諸表論 I・II、簿記 I・II (学科問わず・並行履修可)

**ゼミ合宿など** 春休みおよび夏休みにゼミ合宿を行います。

**その他** 企業会計や税務に関心を持つ学生、公認会計士や税理士などの会計専門家を目指している学生の参加を歓迎します。

### 王 志 (おう し)

**研究テーマ** 管理会計がいかなる形で企業の経営管理に役立てられるかに関する研究  
如何に組織成員のモチベーションを上げるかに関する心理学的研究  
中国・日本企業における経営管理システムの比較研究  
中小企業の海外展開に関する研究

**運営方針** グローバルに活躍し高い思考能力をもつ人材の育成につとめたい。

教科書のほか、ケースや企業の実例を挙げて、プレゼンテーション、クラス討議を中心とする演習形式で、企業経営管理のノウハウを学習していく。

**現在の在籍人数** 18 名

**運営形態** 演習 1・2・3・4 を合同実施、留学については個別に相談のこと。

**選考方法** 課題レポートの提出+面接試験

**前提科目** なし

**履修が望ましい科目** 管理会計論Ⅰ・Ⅱ，経営分析Ⅰ・Ⅱ

**ゼミ合宿など** 年一回のゼミ合宿を行う予定。

**その他** 学生の意欲を重視する。

経営学科 若林 利明（わかばやし としあき）

◆研究テーマ

組織目的が営利であるか非営利であるかを問わず（つまり企業だけではなく、国、地方自治体、学校、病院や NPO 法人なども含みます）、会計情報を利用者の意思決定に役立てるための研究を行ないます。

◆運営方針

演習 1 では、会計学および経営財務論の入門的なテキストを輪読します。使用するテキストは平易ですが、それに留まらず自身の興味関心に応じて発展的な内容へと展開し、報告してくれることを期待しています。

演習 2 では、①政府・非営利組織の財務分析、②企業の財務分析、③個別会計基準の研究（のれんの償却の是非、研究開発費の資産計上の是非など）の 3 グループに分かれてテーマを設定し、ゼミレポートを作成します。成果は、横浜市立大、慶應ビジネススクール、早稲田大などとのインゼミにおいても報告してもらう予定です。

演習 3・4 では個人単位でテーマを選択し、ゼミ論文を作成します。

◆運営形態

演習 1・2・3・4 を合同実施。留学については個別に相談のこと。

◆選考方法

面接試験

◆前提科目

特になし

◆履修が望ましい科目

公会計 I・II（並行履修可）

◆ゼミ合宿など

夏休みにゼミ合宿を行います。

◆その他

前任校ではゼミを開講していなかったもので、私の教員生活の中で皆さんが初めてのゼミ生になります。ともに新たな歴史を創っていきましょう！